

写真と基本データで

橋梁図面を復元

横河ブリッジホールディングスのグループ会社で、橋梁に関する情報サービス事業を展開する横河技術情報（千葉県船橋市、金子俊一社長）は、橋梁の図面を復元するシステムを開発した。橋全体の写真に加え、幅員や支間長、構造形式など必要なデータさえあれば、設計図面や設計・材料計算書を成果物として復元できる。老朽化した橋梁が増える中、同社は地方自治体やコンサルタント会社などを中心に営業展開し、システムの普及を目指す。

開発したのは、必要なデータをそろえて入力するだけで、設計図面に加え、設計・材料計算書まで復元するシステム。必要なデータは、設計条件などが記載された一般図か、一

横河技術情報
システム販売

般図がない場合は、▷橋全体の写真▷竣工年▷橋格▷幅員▷支間長▷主桁本数▷主桁高▷構造形式▷斜角一などのデータ。

自治体によっては、設計図面を適切に保存・管理できていないケースもあるという。その場合、橋梁を測量し直して図面を描き直す必要があり、多くの手間と費用がかかっていた。開発したシステムを使えば、早く簡単に復元が可能だけでなく、コストの削減にもつながる。

同社は、老朽化した橋梁を所管する自治体を中心にシステムの普及を図ることで、橋梁の維持・修繕事業の円滑化に寄与したい考えだ。